

後村上帝の第7皇子 **良成親王** (よしなり、ながなり) 年月日不詳- 応永2年 (1395) ? 筑後国矢部大仙

南朝年号	西暦	足 跡	
正平21	1366		幼くして九州征西府(大宰府)に下向
正平24	1369	~5年	伊予の河野通直の許に派遣され領国経営を学ぶ
天授元	1375	2代征西將軍職に	征西府(隈府城)へ戻り、叔父・懐良親王から <b>征西將軍職</b> を譲られた。
天授2	1376	初陣	菊池賀々丸(後武興、武朝)に奉じられ、肥前国府(佐賀市)へ出陣、幕府方の <b>今川貞世(了俊)</b> の軍と対陣する。
天授3	1377	筑後を経て、隈府城に退却	国府ちかくの千布・蟻打で一戦を交えるが、大敗を期し、征西府の退勢がいよいよ明らかになった。
天授4	1378	詫麻原の戦いで最後の勝利戦	親王は武興に奉じられ <b>詫麻原</b> で今川軍と交戦し今川軍を敗走させた
天授6	1380	今川軍の攻勢	<b>隈府城</b> で籠城するが菊池十八城へ兵糧の搬入を閉ざされる。
弘和元	1381	金武山中の岳に征西府	武興の本拠 <b>隈府城</b> 、親王の在所 <b>染土城</b> は共に陥落。親王は武興を率いて <b>金武山中の岳</b> (熊本市河内町岳)に征西府を移す。
弘和3	1383		今川方の相良前頼の帰順で、南肥後の南朝軍がにわかに勢力を強め、
元中元	1384	宇土へ征西府	<b>宇土氏</b> と <b>河尻氏</b> の援助を得て <b>宇土</b> へ征西府を移す
元中2	1385		南九州の諸氏が今川氏に離反、島津氏、大隅の禰寝氏も帰順する事態
元中3	1386	今川軍の攻勢	今川軍 <b>宇土川尻城</b> への攻撃、相良前頼の反撃で危急を救われる。
	~	数年の小康	その間に阿蘇氏、名和氏と連合、筑後の五条氏と通じて再興をを期す。
元中7	1390	今川軍の攻勢	<b>今川貞臣</b> が父了俊の命で専ら南の攻略に専念。宇土、川尻両城への攻撃
	1390	八代の高田へ征西府を移す	宇土、川尻両城の陥落。 <b>名和顕興</b> を便り、 <b>八代の高田</b> (八代市奈良木町宮園)に征西府を移す。
元中8	1391	今川貞臣と和睦、矢部へ	八代城の陥落。やむなく今川軍と和睦、矢部の <b>五条頼治</b> の元へ
元中9	1392	都では南北朝合一	
応永2	1395	南朝の終焉	大友の一族が矢部に、五条頼治、菊池氏がこれを撃退
			間もなく、親王は30代半ばで薨去したと思われる。
		<b>墓所</b>	八女市矢部村北矢部字御側の御霊舎跡